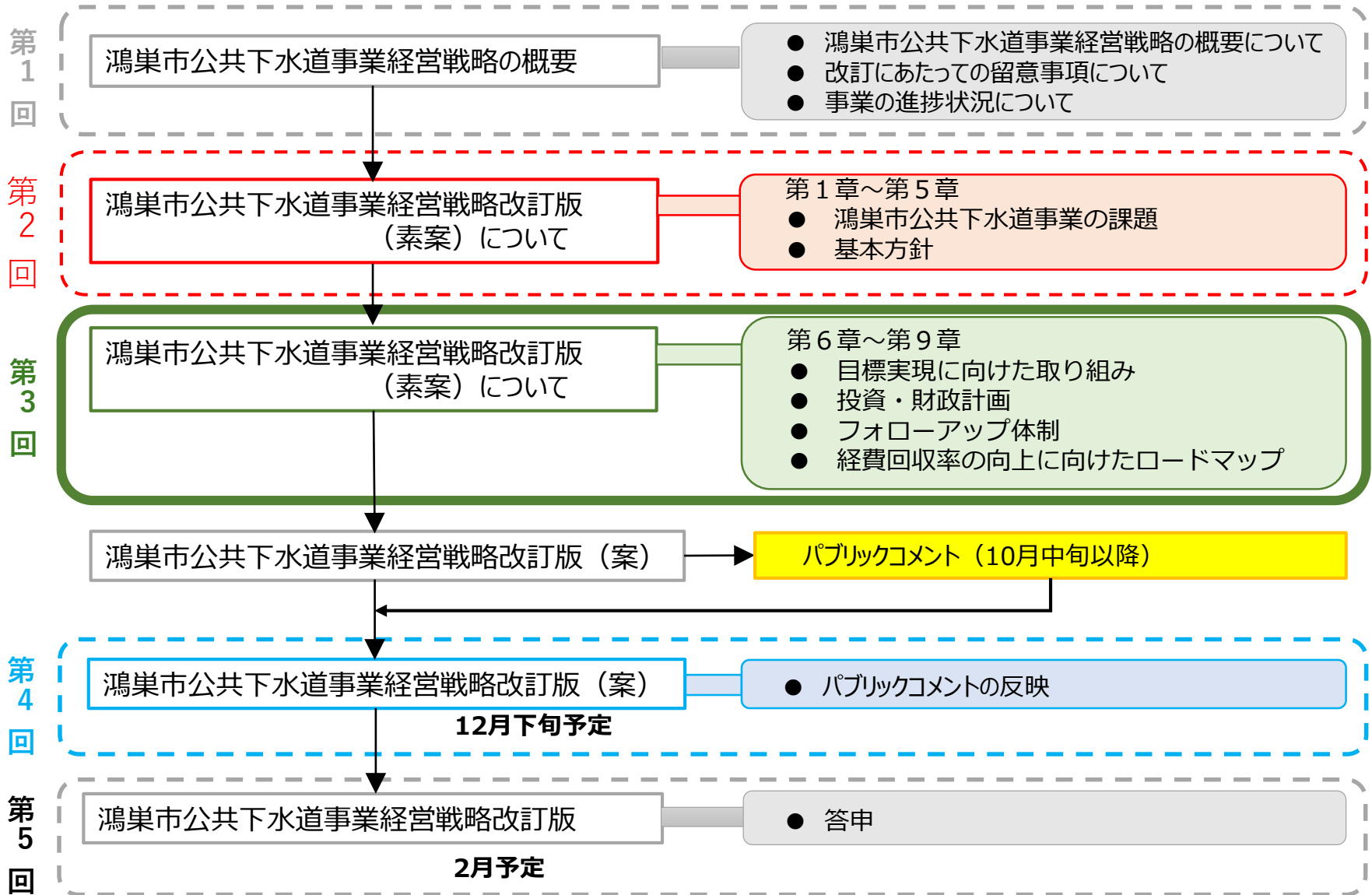


第3回

鴻巣市上下水道事業運営審議会 (下水道事業)

令和6年10月8日

審議内容・スケジュール



本日の説明内容

第1章 鴻巣市公共下水道事業経営戦略の改訂にあたって

第2章 鴻巣市の概況と下水道事業の概要

第3章 将来の事業環境

第4章 鴻巣市公共下水道事業の課題の抽出

第5章 基本方針

第2回
審議内容

第6章 目標実現に向けた取り組み

第7章 投資・財政計画

第8章 フォローアップ体制

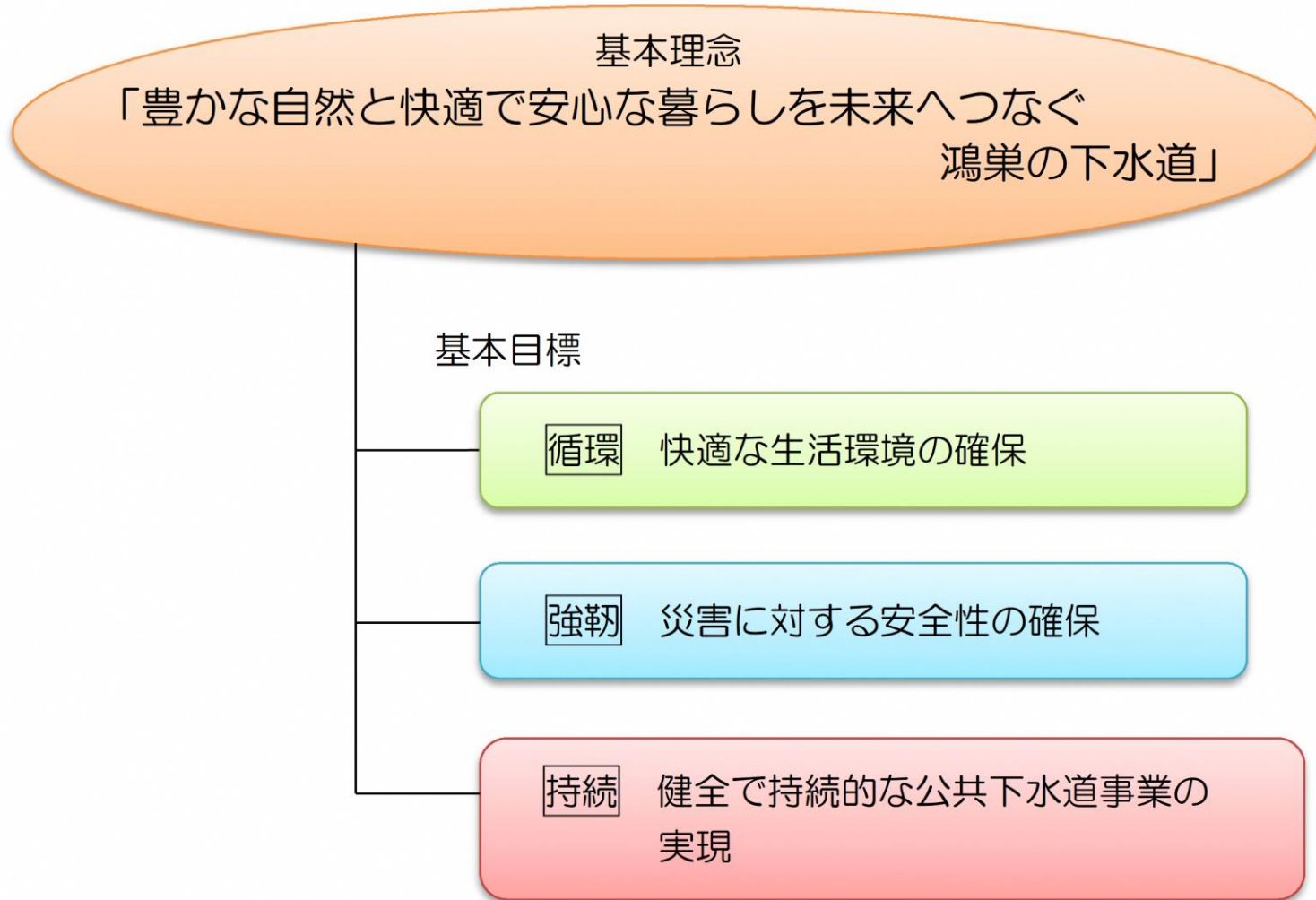
第9章 経費回収率の向上に向けたロードマップ

今回の
審議内容

鴻巣市公共下水道事業経営戦略改訂版(素案)

第2回のおさらい

基本理念と基本目標



基本目標と達成のための施策

基本目標	基本方針	施策
循環 快適な生活環境の確保	(1) 未普及地区の解消	ア) 污水管整備の継続
	(2) 浸水に対する備え	ア) 雨水対策施設の整備
イ) 下水道施設の耐水化		
強靱 災害に対する安全性の確保	(3) 地震に対する備え	ア) 総合地震対策計画の策定
		イ) 下水道施設の耐震化
		ウ) 下水道BCPの継続的運用
持続 健全で持続的な 公共下水道事業の実現	(4) 施設の老朽化対策	ア) スtockマネジメントの推進
	(5) 経営の安定化	ア) 接続率の向上（戸別訪問）
		イ) 下水道使用料の見直し
		ウ) 適正な資金管理
		エ) 有収率の向上
	(6) 管理体制の効率化	ア) 組織体制の維持
		イ) 広域化（共同化）の推進
ウ) 民間活用の推進		
(7) 広報活動	エ) 技術継承	
	ア) 下水道情報の発信	

第6章 目標実現に向けた取り組み

上下水道部 下水道課

快適な生活環境の確保 **循環**

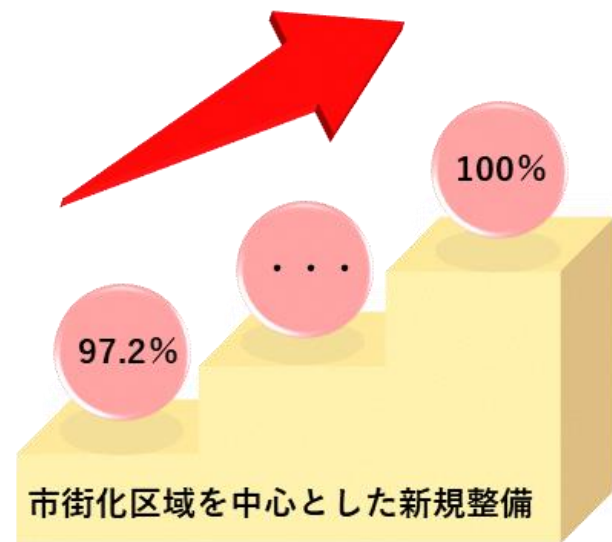
基本方針(1) 未普及地区の解消

◆施策(1)－ア) 污水管整備の継続



【課題】未普及地区の早期解消

**【具体的な事業・取り組み】
市街化区域を中心に下水道の新規整備**



	内容	事業目標
目標	事業計画区域（1,551ha）の污水整備	令和10年度までに完了

災害に対する安全性の確保 **強靱**

基本方針(2) 浸水に対する備え

◆施策(2)－ア) 雨水対策施設の整備



【課題】 浸水被害の発生リスク

【具体的な事業・取り組み】
雨水施設の増設や、雨水幹線の整備



	内容	事業目標
目標	雨水対策施設の増設	大間調整池の増設
	雨水幹線の整備	令和 10 年度までに 7.1km の整備

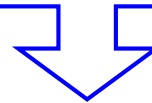
災害に対する安全性の確保 **強靱**

基本方針(2) 浸水に対する備え

◆施策(2)－イ) 下水道施設の耐水化



【課題】下水道施設の浸水を防ぐ必要がある



【具体的な事業・取り組み】

揚水機能を確保するため、雨水ポンプ場の耐水化を実施する

	内容	事業目標
目標	耐震化・老朽化対策も含めた 総合的な対策の検討	令和 10 年度までに実施

災害に対する安全性の確保 **強靱**

基本方針(3) 地震に対する備え

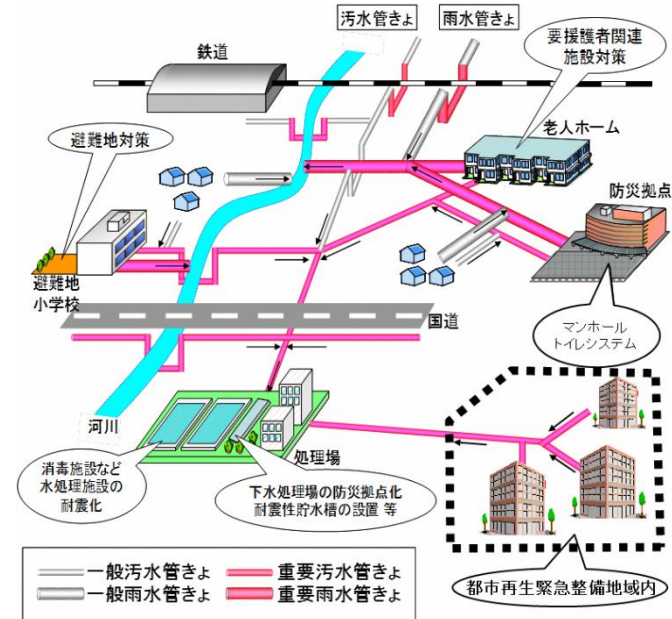
◆施策(3)－ア) 総合地震対策計画の策定



【課題】 効率的な地震対策

【具体的な事業・取り組み】

被害を最小化するための
総合的な地震対策計画の策定



	内容	事業目標
目標	総合地震対策計画の策定	令和 10 年度までに策定

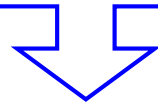
災害に対する安全性の確保 **強靱**

基本方針(3) 地震に対する備え

◆施策(3)－イ) 下水道施設の耐震化



【課題】
施設の耐震診断と耐震補強



【具体的な事業・取り組み】
耐震化が必要な管路の抽出



	内容	事業目標
目標	耐震化する幹線の抽出	令和 10 年度までに実施

災害に対する安全性の確保 **強靱**

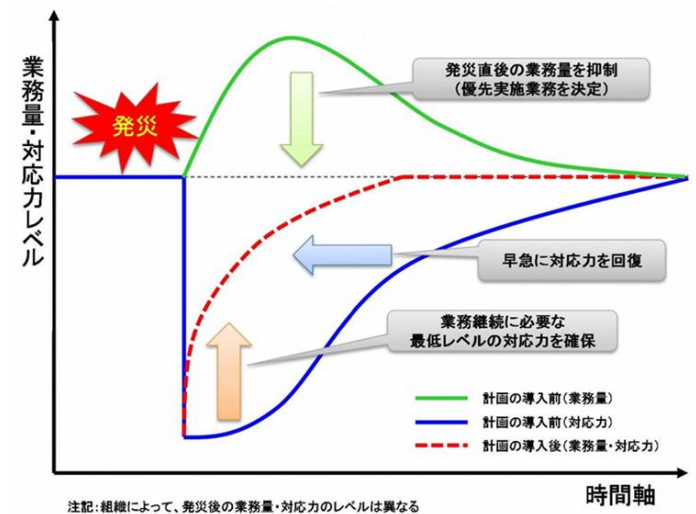
基本方針(3) 地震に対する備え

◆施策(3)－ウ) 下水道BCPの継続的運用



【課題】災害時における対応方法

【具体的な事業・取り組み】
毎年更新して継続的に運用
(実地訓練・情報伝達訓練)



	内容	事業目標
目標	下水道 BCP の継続的更新・運用	運用継続

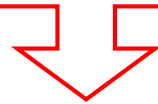
健全で持続的な公共下水道事業の実現 **持続**

基本方針(4) 施設の老朽化対策

◆施策(4)ーア) スtockマネジメントの推進

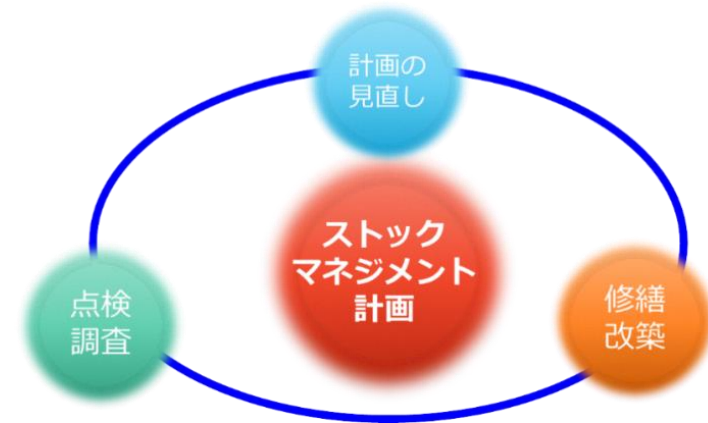


【課題】定期的な調査・点検、修繕・改築の実施



【具体的な事業・取り組み】

ストックマネジメント計画に基づき効率的に行う



	内容	事業目標
目標	計画的な点検・調査、修繕・改築の実施	ストックマネジメントに基づいた管理

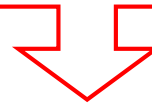
健全で持続的な公共下水道事業の実現 **持続**

基本方針(5) 経営の安定化

◆施策(5)－ア) 接続率の向上（戸別訪問）



【課題】水質保全や公衆衛生のために、下水道への早期接続



【具体的な事業・取り組み】

未接続のご家庭に対して戸別訪問等を行う

	内容	事業目標
目標	接続率の向上	令和 10 年度までに 接続率 98.0%

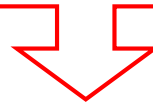
健全で持続的な公共下水道事業の実現 **持続**

基本方針(5) 経営の安定化

◆施策(5)－工) 有収率の向上



【課題】地下水や雨水が管路に浸入することで、処理効率が低下



【具体的な事業・取り組み】

管路内調査による不明水の有無のチェック

効果的な不明水対策に関する情報収集

	内容	事業目標
目標	不明水対策の継続	管路内調査、情報収集

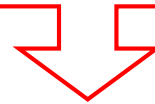
健全で持続的な公共下水道事業の実現 **持続**

基本方針(6) 管理体制の効率化

◆施策(6)－ア) 組織体制の維持



【課題】現状の人員体制での実施体制の確立



【具体的な事業・取り組み】

施設のデータベースの構築や民間の技術力の活用で業務効率化

健全で持続的な公共下水道事業の実現 **持続**

基本方針(6) 管理体制の効率化

◆施策(6)－イ) 広域化（共同化）の推進



【課題】市町村や事業の枠を超えたさらなる経営の効率化

【具体的な事業・取り組み】

埼玉県をはじめとする他団体と連携した取り組み

公共下水道、農業集落排水施設の広域化・共同化に向けた施設の
統廃合の検討

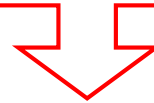
健全で持続的な公共下水道事業の実現 **持続**

基本方針(6) 管理体制の効率化

◆施策(6)－ウ) 民間活用の推進



【課題】民間の持つ技術力を活かした事業の効率化



【具体的な事業・取り組み】

下水道施設の維持管理及び更新を一体で民間に委託し、マネジメントを行う「ウォーターPPP」の導入を検討・実施

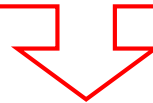
健全で持続的な公共下水道事業の実現 **持続**

基本方針(6) 管理体制の効率化

◆施策(6)－工) 技術継承



【課題】下水道に関する専門知識、技術の継承



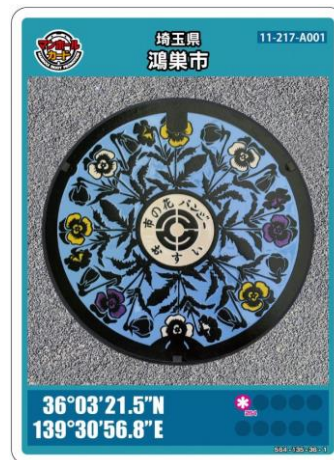
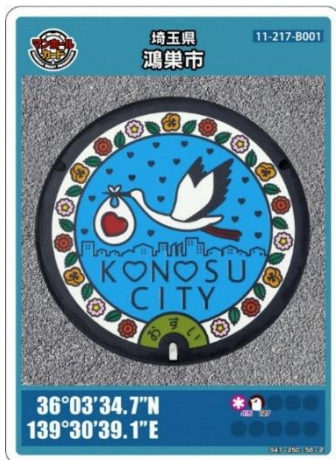
【具体的な事業・取り組み】

講習会等への参加を通じて、下水道に関する基礎知識の向上や最新情報の取得を図る

健全で持続的な公共下水道事業の実現 **持続**

基本方針(7) 広報活動

◆施策(7)－ア) 下水道情報の発信



【課題】 積極的な広報

【具体的な事業・取り組み】

- ・マンホールカードの配布
- ・現場見学会の開催
- ・出前講座の実施
- ・上下水道フェアの実施

SDGsの取り組み

施策 3-6 汚水処理の推進

SDGsとの
関連性



成果指標	現状値	R8 目標値
河川における水質値 (BOD) (直近5年間平均)	9.0mg / リットル	3.5mg / リットル
河川における水質値 (SS) (直近5年間平均)	8.6mg / リットル	8.6mg / リットル
汚水処理人口普及率	89.1 %	100 %

基本事業名

1. 下水道施設の整備と適正な維持管理 **強靱化**
2. 公共下水道及び農業集落排水への接続の促進
3. 合併処理浄化槽の推進 **強靱化**
4. 経営の安定化

施策 4-3 雨水対策の推進

SDGsとの
関連性



成果指標	現状値	R8 目標値
道路冠水箇所数	22件	20件
宅地など浸水箇所数	0件	0件

基本事業名

1. 雨水の流出抑制 **強靱化**
2. 排水施設の整備 **強靱化**

出典：第6次鴻巣市総合振興計画 概要版（令和4年3月）

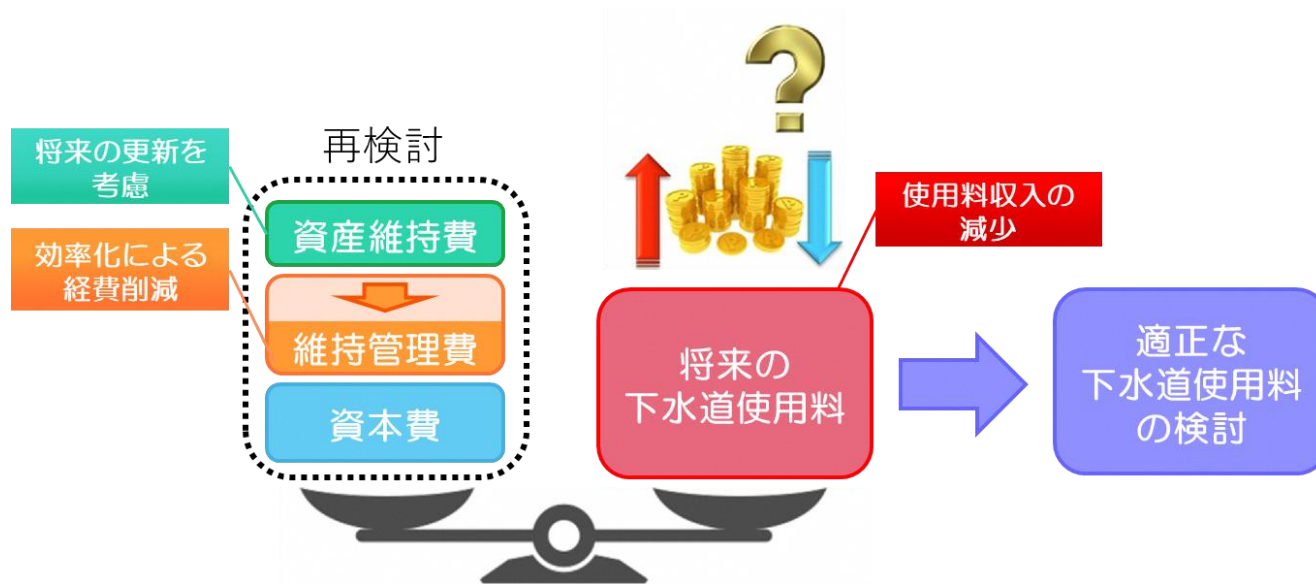
- 第6章 目標実現に向けた取り組み**
- 第7章 投資・財政計画**
- 第8章 フォローアップ体制**
- 第9章 経費回収率の向上に向けた
ロードマップ**

上下水道部 経營業務課

健全で持続的な公共下水道事業の実現 **持続**

基本方針(5) 経営の安定化

◆施策(5)－イ) 下水道使用料の見直し



	内容	事業目標
目標	下水道使用料の在り方検討	令和7年度に実施予定

健全で持続的な公共下水道事業の実現 **持続**

基本方針(5) 経営の安定化

◆施策(5)－ウ) 適正な資金管理



【課題】継続的な事業運営のために適正な資金管理が必要














【具体的な事業・取り組み】

国の交付金や企業債を活用する

借入と償還のバランスを考慮した資金調達を行い、

適正な内部留保額の確保に努める

事業計画

基本目標・基本方針	施策	前期 2019- 2023	後期 2024- 2028	次期以降 2029～
快適な生活環境の確保 循環				
未普及地区の解消	污水管整備の継続	実施 	整備継続 	
災害に対する安全性の確保 強靱				
浸水に対する備え	雨水対策施設の整備	実施 	整備継続 	
	下水道施設の耐水化	計画策定 	実施 	
地震に対する備え	総合地震対策計画の策定	検討 	計画策定 	
	下水道施設の耐震化	検討 	検討 	実施 
	下水道 BCP の継続的運用	実施 	更新・継続 	

事業計画

基本目標・基本方針	施策	前期 2019- 2023	後期 2024- 2028	次期以降 2029～
健全で持続的な公共下水道事業の実現 持続				
施設の老朽化対策	ストックマネジメントの推進	実施 	調査・点検の継続 	
		実施 	計画に基づく修繕・改築 	
経営の安定化	接続率の向上（戸別訪問）	実施 	戸別訪問の継続 	
	下水道使用料の見直し	検討 	検討 	
	適正な資金管理	実施 	財源の適正化 	
	有収率の向上	実施 	不明水対策の継続 	
管理体制の効率化	組織体制の維持	実施 	継続 	
	広域化（共同化）の推進	検討 	施設の統廃合 	
	民間活用の推進	検討 	ウォーターPPPの導入 	
	技術継承	実施 	講習会への参加等の継続 	
広報活動	下水道情報の発信	実施 	継続 	

管理目標

項目	令和4年度 (実績値)	令和10年度 (目標値)	管理目標値の設定方針
経費回収率※	75.8%	100%	維持管理費など経費の削減や適正な下水道使用料の設定により、下水道使用料収入の確保に努める
一般会計繰入金 (基準外繰入金比率(収益的収入分))※	13.0%	0%	独立採算制を目指す観点から、基準外繰入金比率(収益的収入分)の依存度を低減させ、総務省の一般会計繰出基準に基づかない繰入金を削減する
内部留保資金	約16.4億円	約16.0億円 以上	不測の災害が発生した場合等に必要とされる現金預金を備えるべき額として、下水道事業の事業規模(営業収益)の1年分程度を確保する
企業債残高	約119.0億円	約100.0億円 以下	企業債については、元金償還額の範囲内での借入とすることで、残高の抑制に努める

※経費回収率：使用料収入 ÷ 汚水処理費 × 100

※基準外繰入金比率(収益的収入分)：基準外繰入金(収益的収入) ÷ 収益的収入 × 100)

投資試算

基本方針	施策	目標（令和10年度）
未普及地区の解消	污水管整備の継続	事業計画区域の污水整備完了
浸水に対する備え	雨水対策施設の整備	大間調整池の増設 雨水幹線 7.1km の整備
	下水道施設の耐水化	污水・雨水ポンプ場施設耐水化計画 に基づく浸水対策の検討
地震に対する備え	総合地震対策計画の策定	総合地震対策計画の策定
	下水道施設の耐震化	総合地震対策計画に基づく耐震診断、 耐震補強の検討
施設の老朽化対策	ストックマネジメントの推進	ストックマネジメント計画に基づいた管理
管理体制の効率化	広域化の推進	農業集落排水施設の公共下水道接続と 施設の統廃合の検討

投資以外の経費の試算

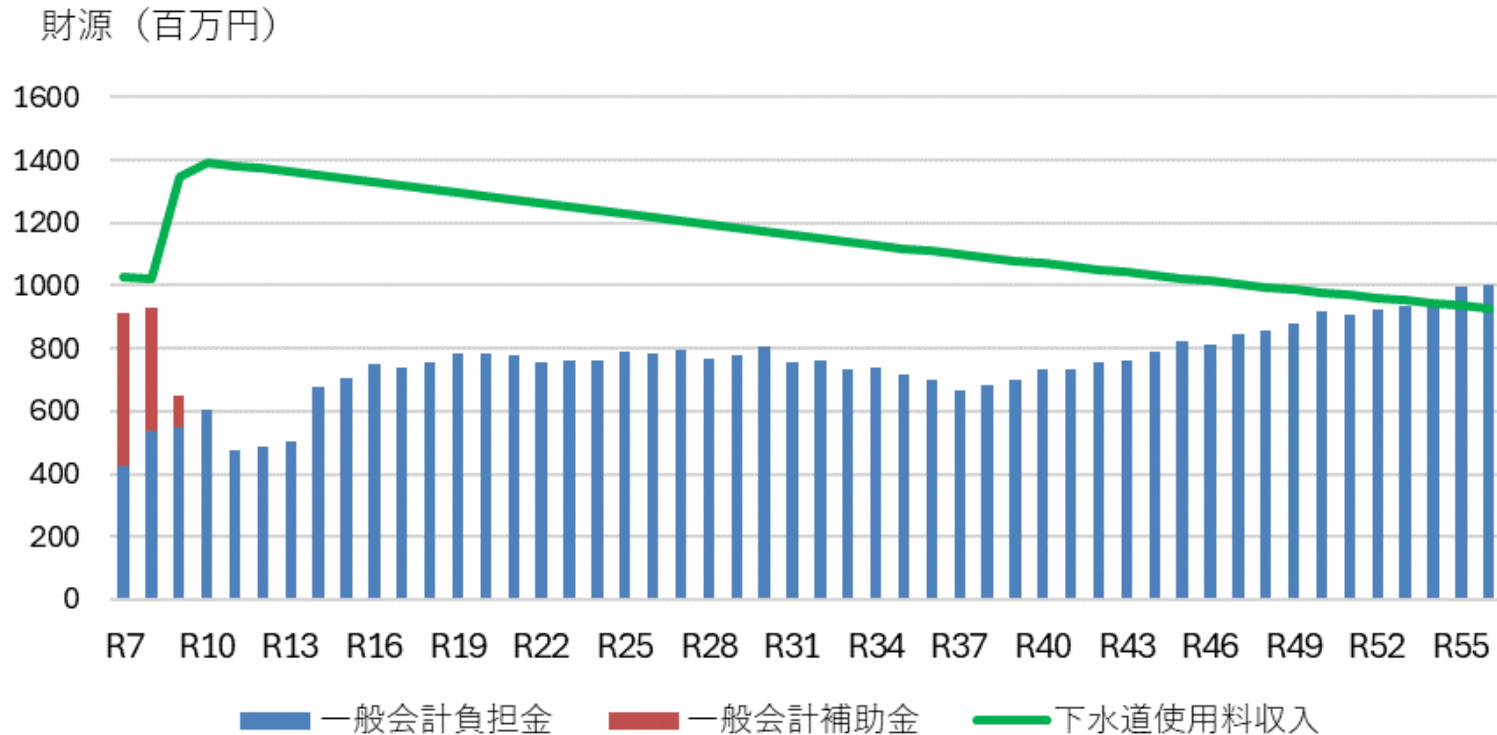
区分	項目	試算方法
収益的支出 (営業費用)	職員給与費	令和元年度から令和5年度までの平均値をもとに 年1%の上昇を見込んで算定
	経費(動力費)	令和元年度から令和5年度までの平均値をもとに 物価上昇を見込んで算定
	経費(修繕費)	
	経費(材料費)	
	経費(委託料)	
	流域下水道 維持管理負担金	令和6年度から46円/m ³ で算定
	減価償却費	資産の法定耐用年数により、定額法で算出 (下水道施設50年、施設利用権35年)

投資以外の経費の試算

区分	項目	試算方法
収益的支出 (営業外費用)	支払利息	令和5年度までの起債に対する支払利息は、 公債台帳の数値を採用 令和6年度以降の起債に対する支払利息は、元利均等方式、 新規整備は償還期間30年、うち据置5年、 改築更新は償還期間30年、据置期間なし、年利率1.5%で算定
資本的支出	建設改良費(給与)	直近の予算額に基づき算定
	流域下水道 建設負担金	全体計画見直しによる負担率変更を考慮し算定
	企業債償還金	令和5年度までの起債に対する企業債償還金は、 公債台帳の数値を採用 令和6年度以降の起債に対する企業債償還金は、元利均等方式、 新規整備は償還期間30年、うち据置5年、 改築更新は償還期間30年、据置期間なし、年利率1.5%で算定
	貸付金	計上なし
	予備費	計上なし

財源試算

1.下水道使用料収入



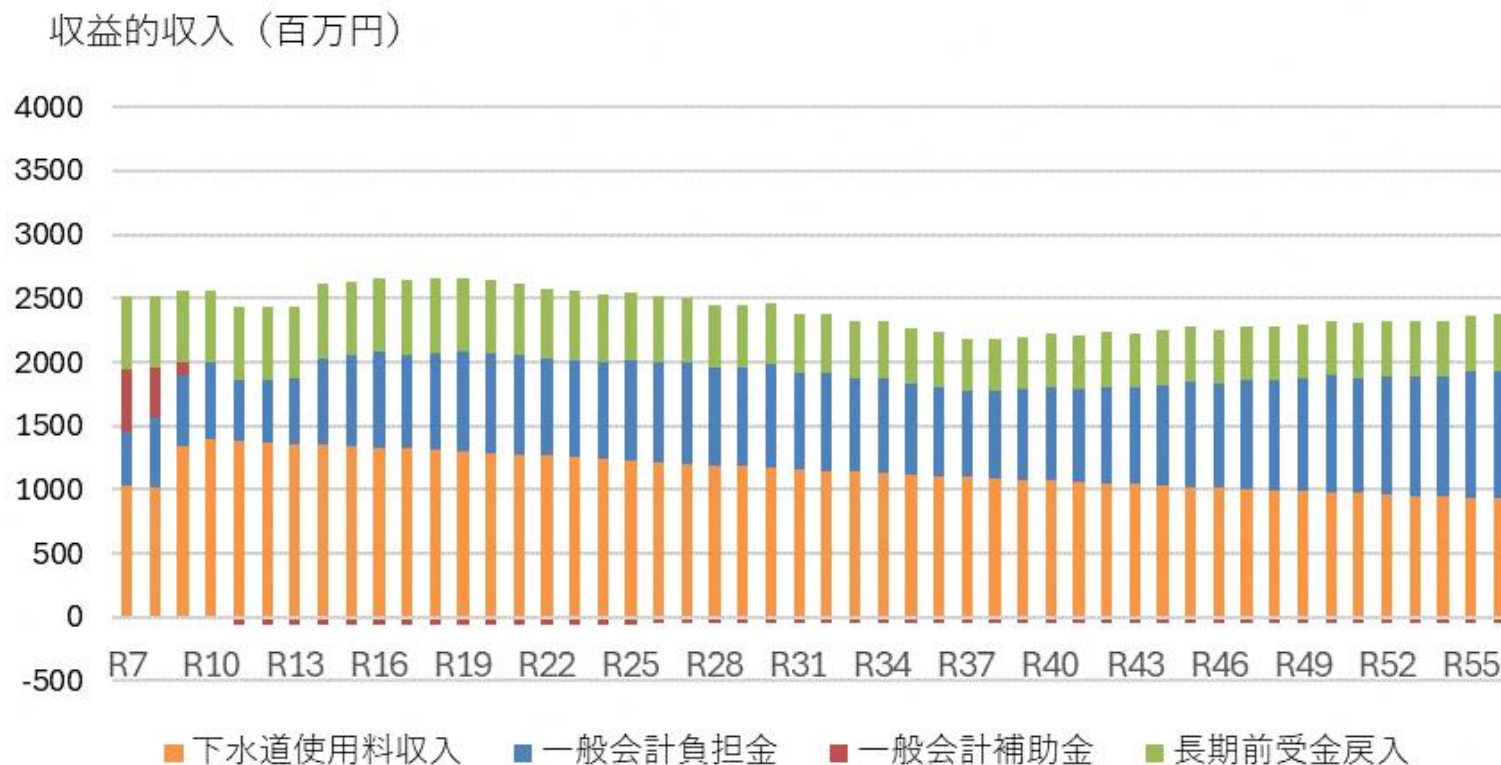
財源試算

2.下水道使用料収入以外

区分	項目	試算方法
収益的収入 (営業収益)	受託工事収益	計上なし
	雨水処理負担金	一般会計繰出基準に基づき算定
	その他	令和元年度から令和5年度までの平均値
収益的収入 (営業外収益)	他会計負担金	一般会計繰出基準に基づき算定
	他会計補助金	収益的収支が不足する場合に計上(基準外繰入)
	長期前受金戻入	資産の取得に要した補助金を収益化
	その他	令和元年度から令和5年度までの平均値
資本的収入	企業債	過年度の発行実績に基づき算定
	他会計負担金	一般会計繰出基準に基づき算定
	他会計補助金	資本的収支が不足する場合に計上(基準外繰入)
	国・県補助金	過年度の交付実績に基づき算定
	固定資産売却代金	計上なし
	工事負担金	汚水管路施設の新設に係る工事費の5%を計上 (受益者負担金)
	その他	計上なし

今後50年の見通し

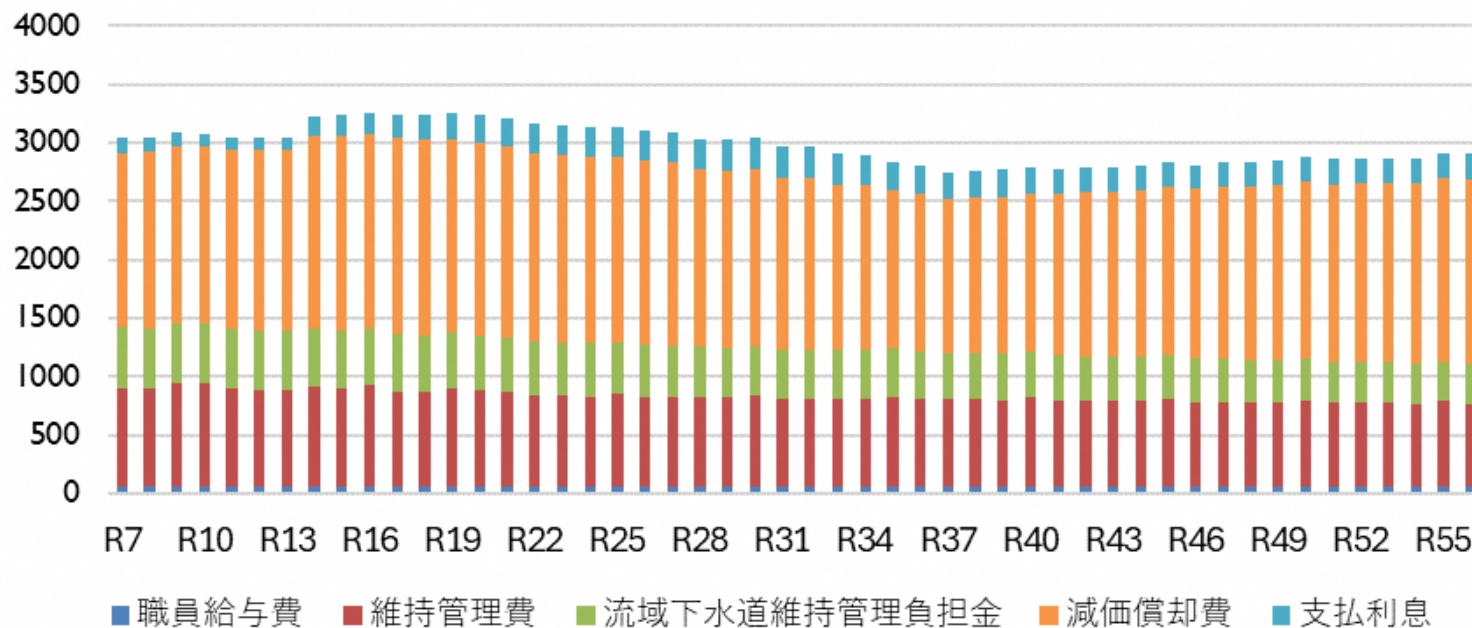
1.収益的収支の見通し（収入）



今後50年の見通し

1.収益的収支の見通し（支出）

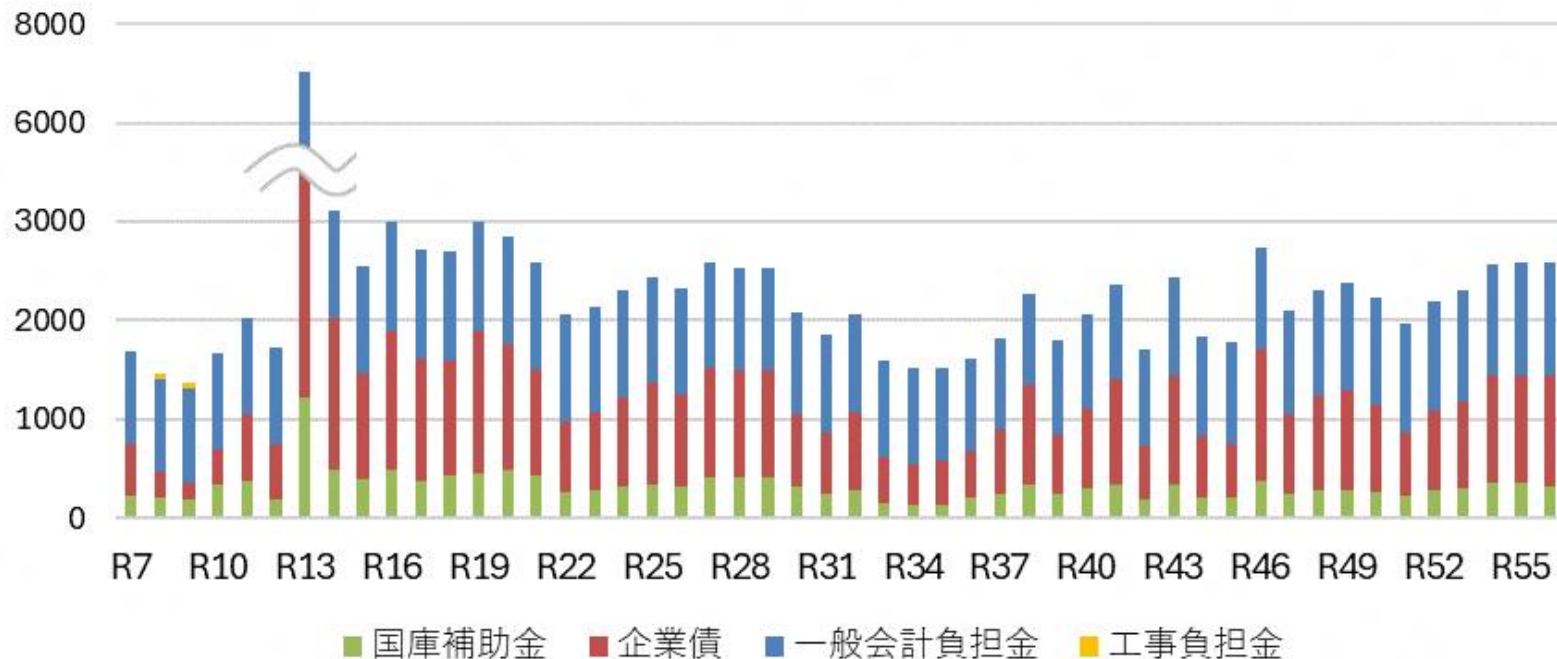
収益的支出（百万円）



今後50年の見通し

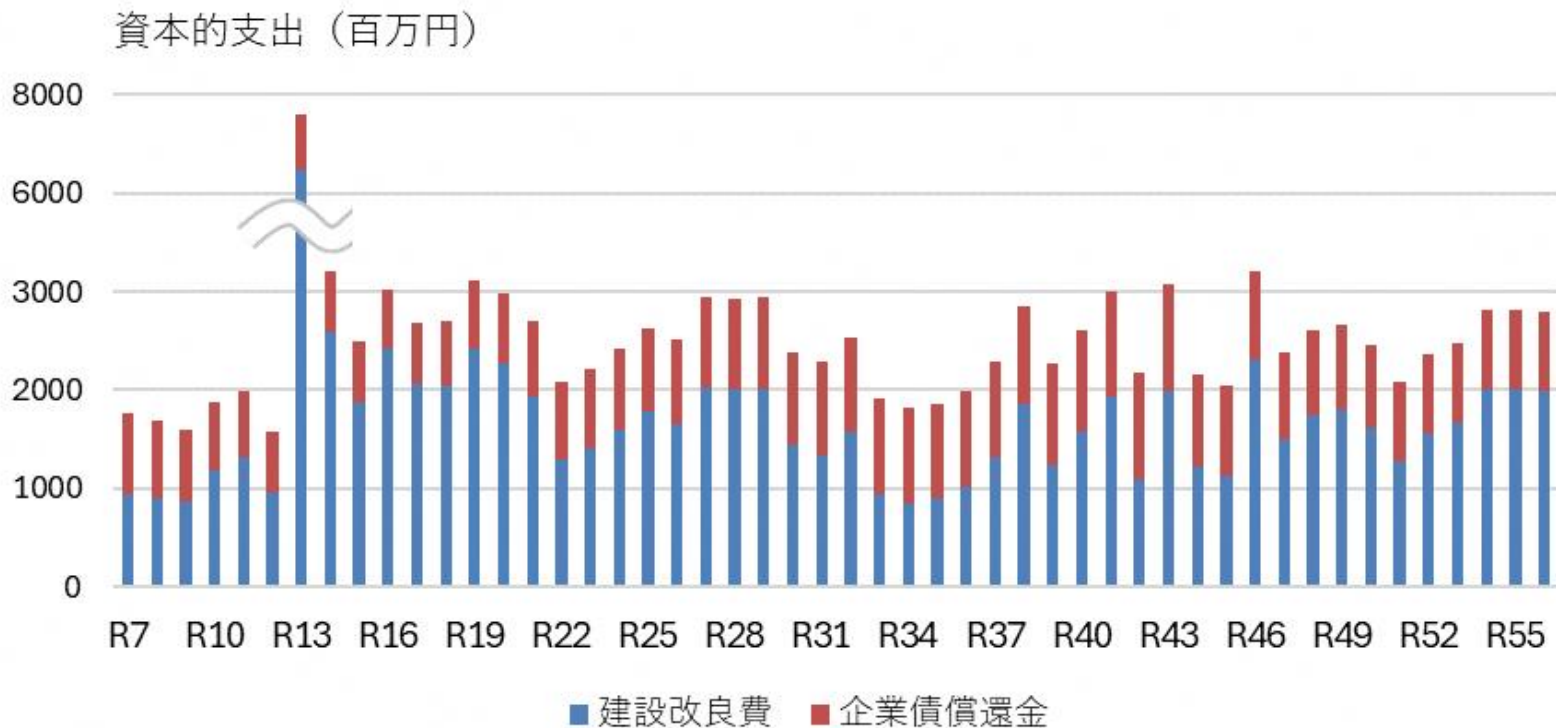
2.資本的収支の見通し（収入）

資本的収入（百万円）



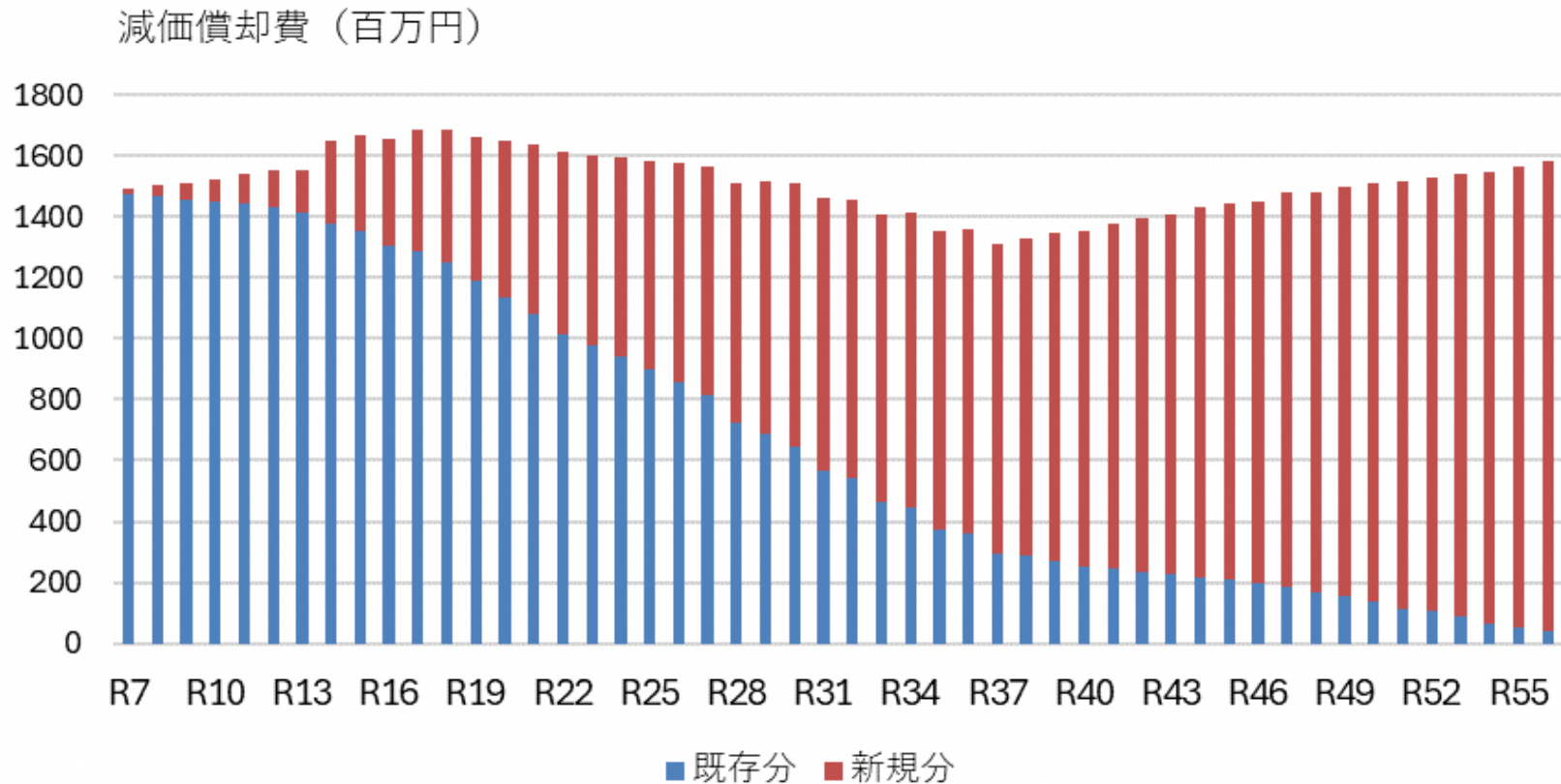
今後50年の見通し

2.資本的収支の見通し（支出）



今後50年の見通し

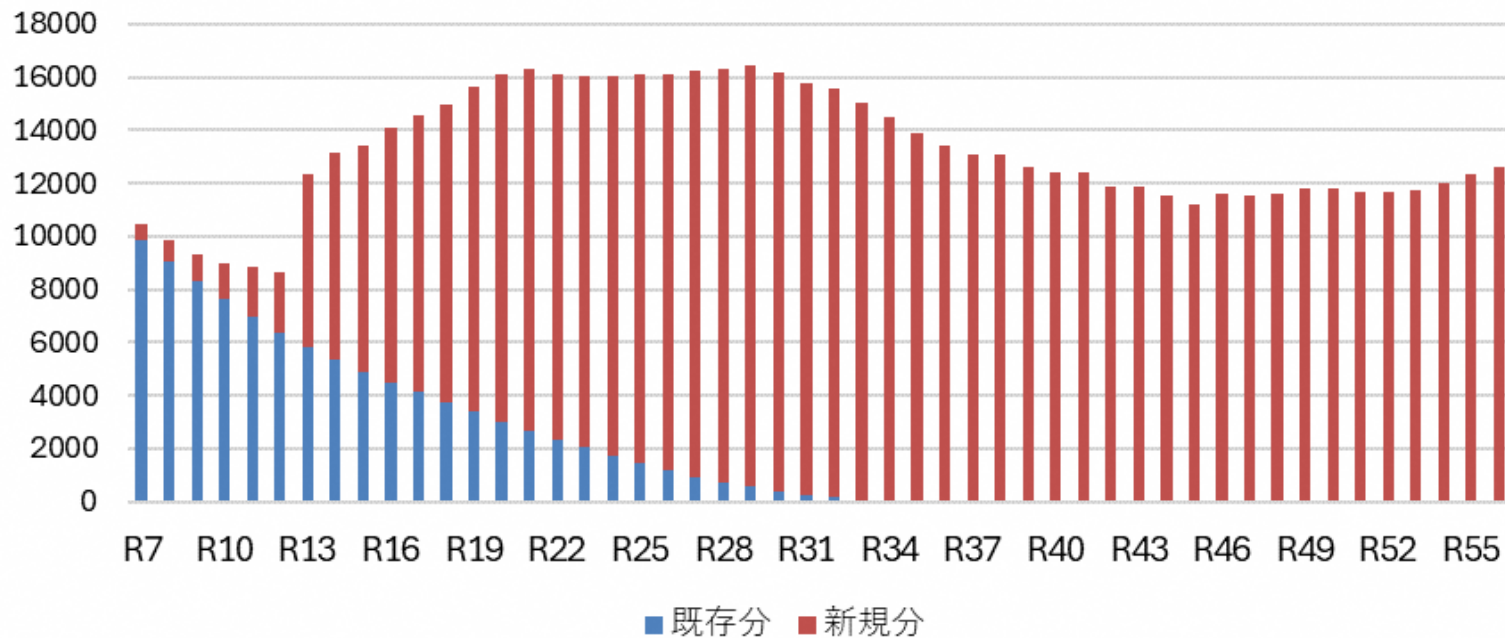
3.減価償却費



今後50年の見通し

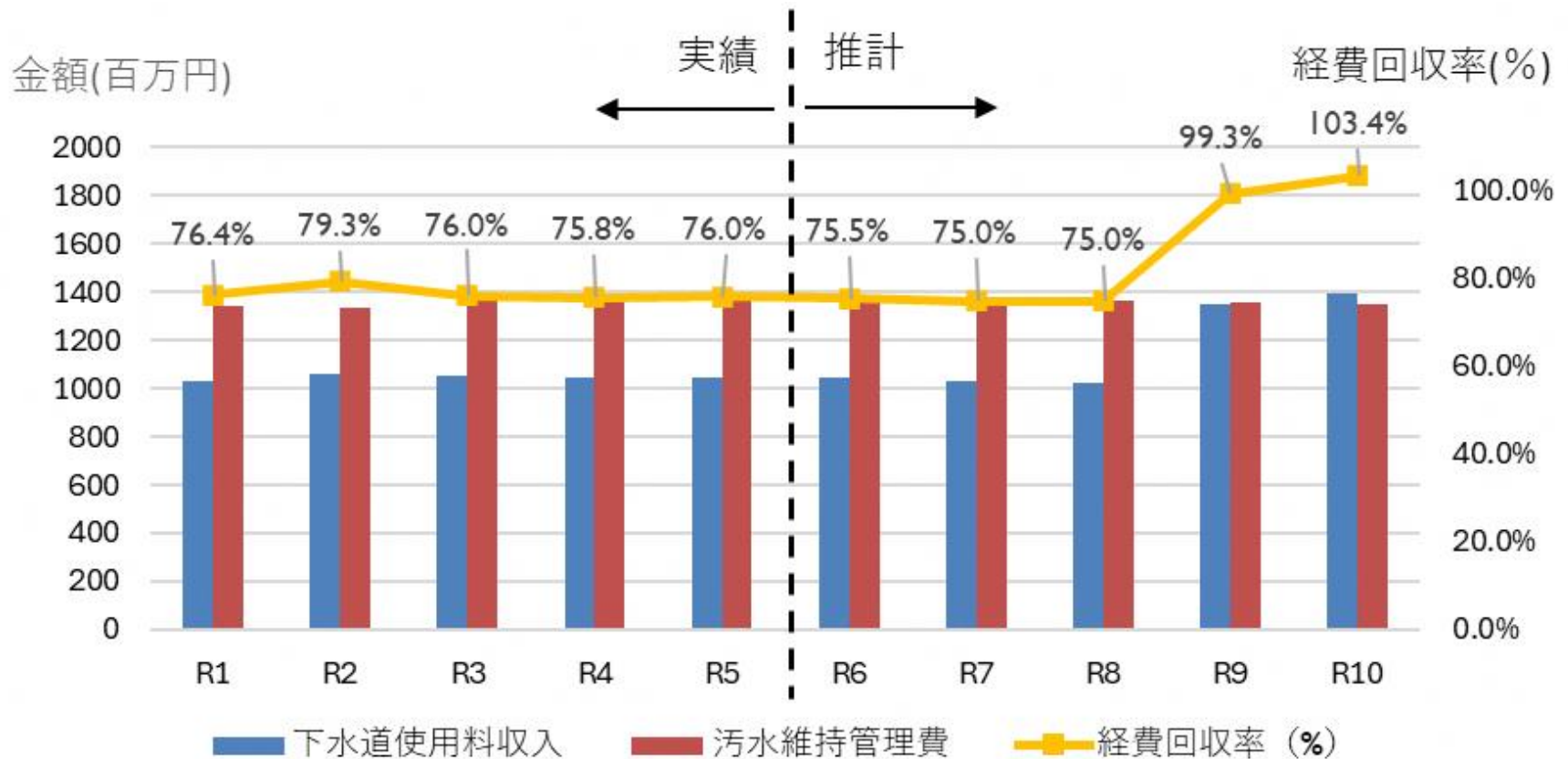
4.企業債残高

企業債残高（百万円）



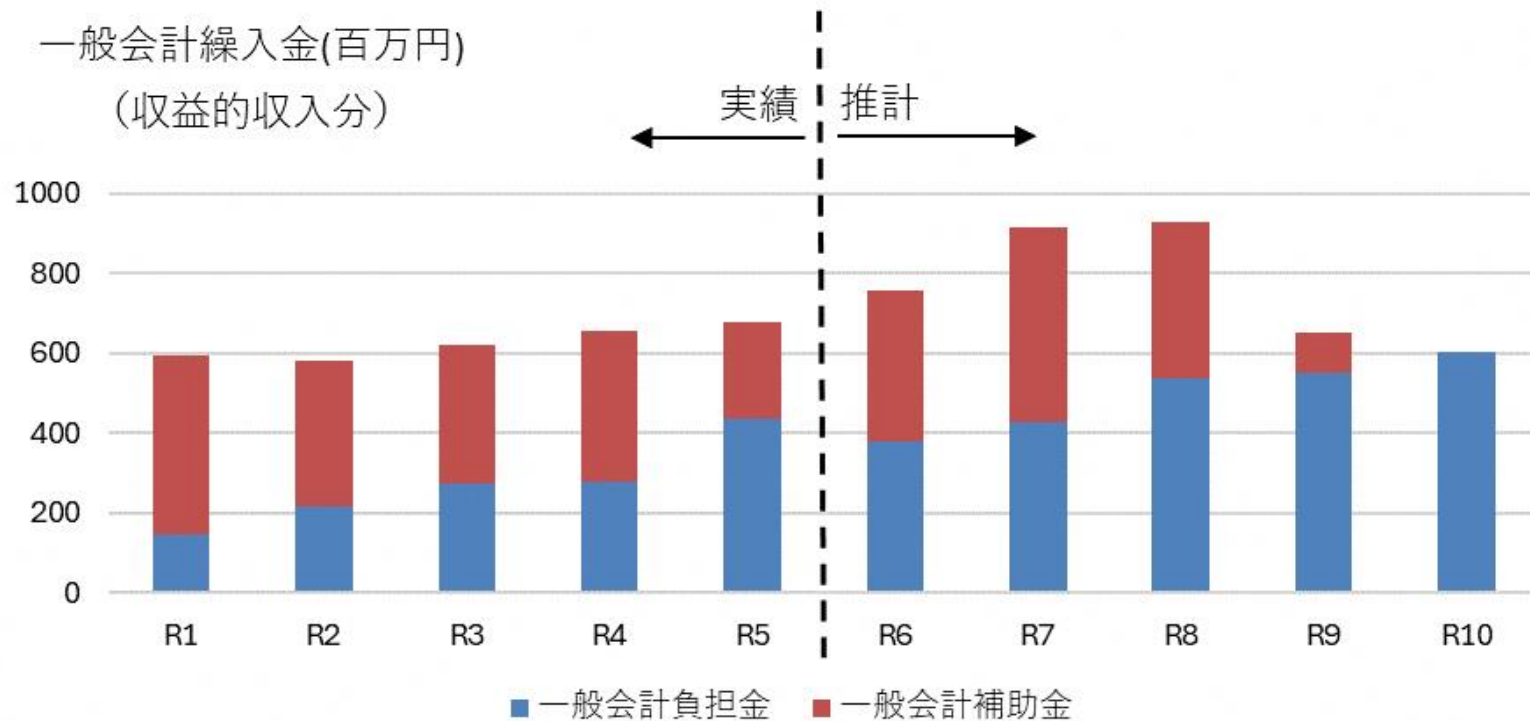
経営状況の見通し

1.経費回収率



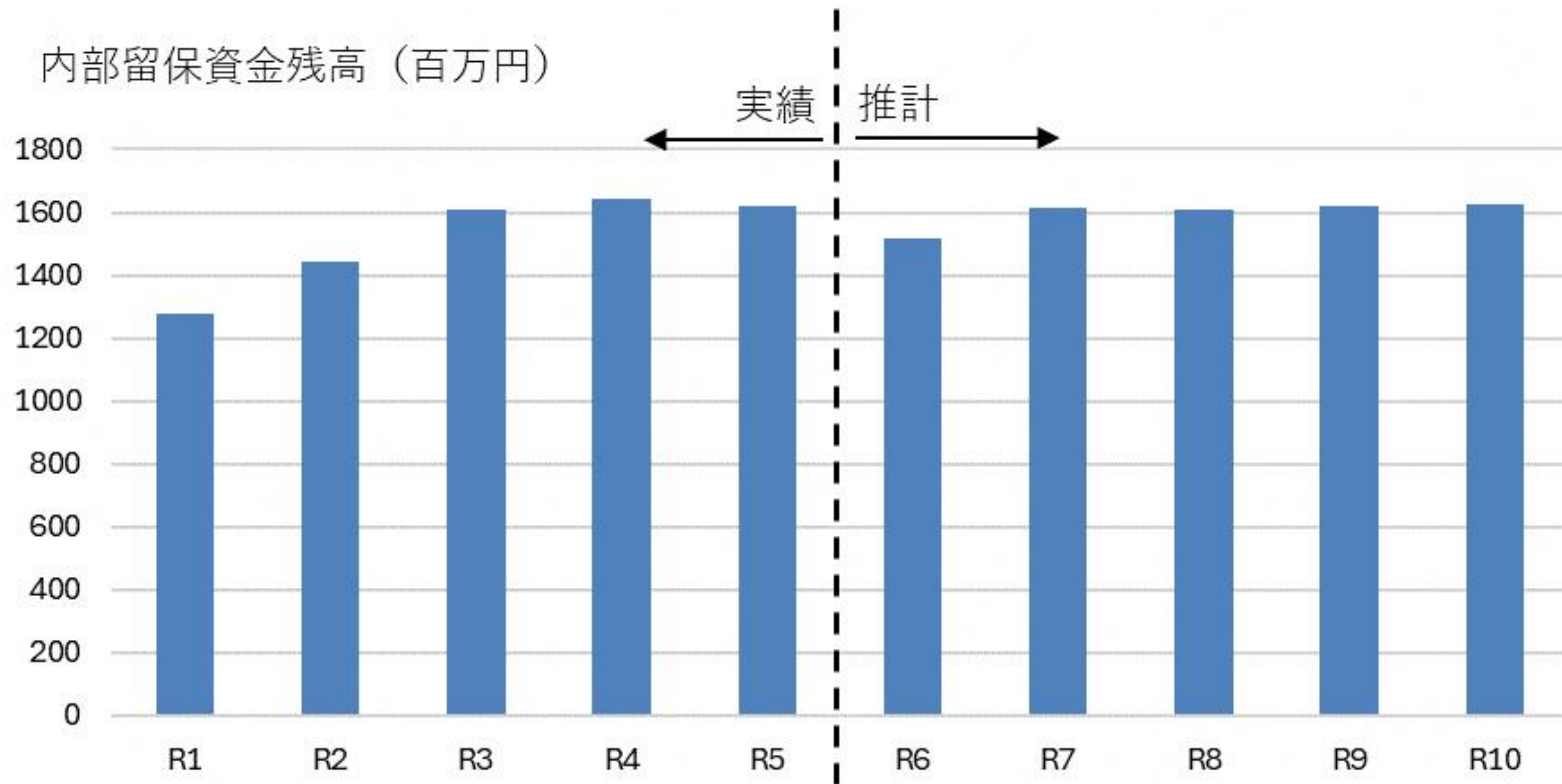
経営状況の見通し

2. 一般会計繰入金（収益的収入分）



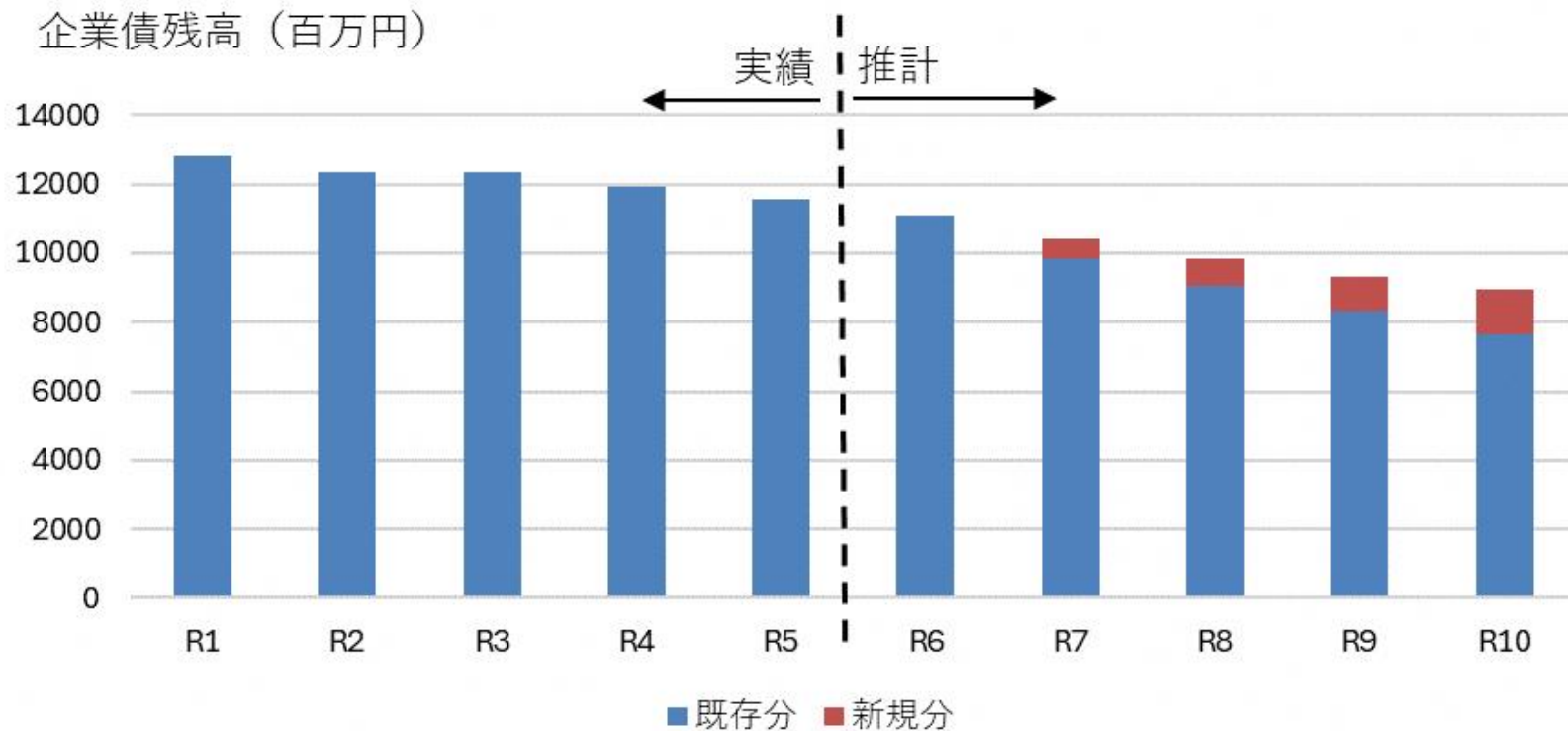
経営状況の見通し

3.内部留保資金残高



経営状況の見通し

4.企業債残高



今後検討予定の取り組みの概要

1. 今後の投資についての検討

項目	取組内容
① 広域化・共同化・最適化に関する事項	<p>汚水処理施設の効率的な事業運営が求められる中、埼玉県生活排水処理施設整備構想の一部として、公共下水道、農業集落排水施設を広域化・共同化する計画が位置づけられました。今後、農業集落排水施設の公共下水道接続を進め、施設の統廃合の検討を行います。</p>
② 投資の平準化に関する事項	<p>ストックマネジメント計画に基づいて施設の長寿命化に努めながら、今後増加が予想される改築・修繕等の費用について、計画的に事業を進め、機能確保に向けた投資の平準化を目指します。</p>
③ 民間活用に関する事項	<p>維持管理費や事業費のコスト削減、官民による事業の実施体制の強化を目指します。下水道施設の維持管理及び更新を一体で民間に委託し、マネジメントを行う「ウォーターPPP」の導入を検討・実施します。</p>

今後検討予定の取り組みの概要

2. 今後の財源についての検討

項目	取組内容
① 下水道使用料の見直しに関する事項	今後、人口減少に伴う下水道使用料収入の低迷が見込まれる中、安定的に事業を継続していくためには、他会計からの繰入金に依存せず、中長期的に自立・安定した経営基盤を築く必要があることから、次期（令和11年度～令和20年度）経営戦略の策定後、改めて下水道使用料の在り方について検討し、必要に応じて下水道使用料の改定を予定します。

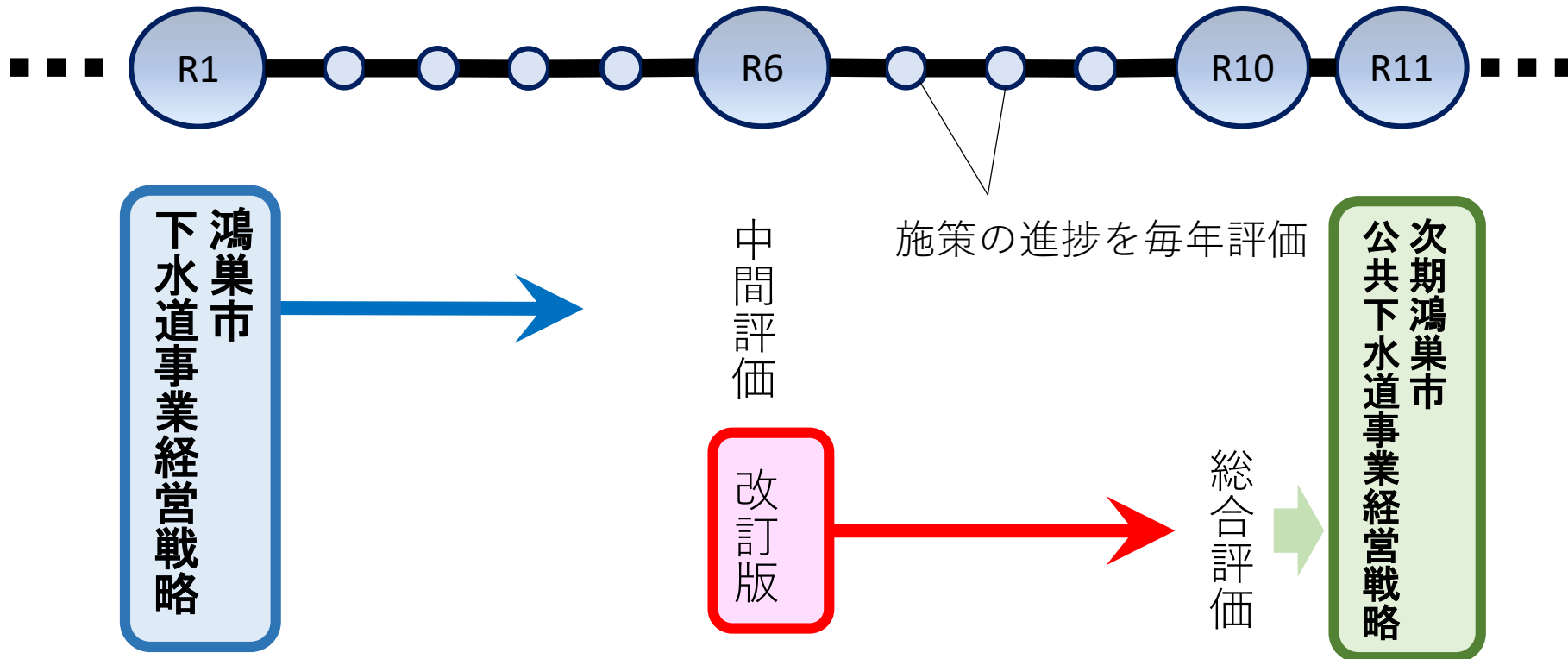
今後検討予定の取り組みの概要

3.投資以外の経費についての検討

項目	取組内容
① 職員給与費に関する事項	今後、改築需要の増加が見込まれる中、業務の効率化を図り、適正な職員数の確保に努め、組織体制を維持します。
② 動力費に関する事項	ポンプ場施設の省エネルギー化に努めることで、動力費の低減に努めます。
③ 修繕費に関する事項	計画的な点検調査を実施し、必要に応じて修繕を行うことで施設の機能を維持し、修繕費の低減に努めます。
④ 委託費に関する事項	引き続き民間事業者の技術力を活用することで、維持管理の質を確保するとともに業務の効率化を図り、委託費の低減に努めます。

鴻巣市下水道事業経営戦略の評価時期

第6次 鴻巣市総合振興計画(平成29～令和8年度)



定量的評価のための指標

指標	関連施策	現状値 2022年度 (R4)	目標値 2028年度 (R10)
事業計画区域の整備	汚水管整備の継続	1,502.7ha	1,551.0ha
大間調整池の増設	雨水対策施設の整備	未着手	着手
雨水幹線整備延長	雨水対策施設の整備	7.0km	7.1km
耐震化・老朽化対策も含めた 総合的な施策の検討	下水道施設の耐水化	未着手	着手
総合地震対策計画の策定	総合地震対策計画の策定	未策定	策定
耐震化する幹線の抽出	下水道施設の耐震化	未着手	着手
下水道BCPの継続的更新・運用	下水道BCPの継続的運用	運用	運用継続
計画的な調査・点検、修繕・改築	ストックマネジメントの推進	実施	実施継続
接続率	接続率の向上	94.9%	98.0%
下水道使用料の在り方検討	下水道使用料の見直し	未着手	改定実施
資本費平準化債起債額	資本費平準化債の活用	80百万円	—
不明水対策の継続 (管路内調査・補修、情報収集)	有収率の向上	実施	実施継続

第9章の内容

経費回収率の向上に向けたロードマップ

年度	項目
R6	経営戦略改定
R7	下水道使用料の在り方検討
R8	
R9	下水道使用料の改定
R10	経営戦略改定

次回 第4回鴻巣市上下水道事業運営審議会

予定 令和6年12月20日（金）

または

令和6年12月23日（月）

内容

- ・ パブリックコメントの意見と回答
- ・ パブリックコメントを反映させた経営戦略改訂版（案）の提示
- ・ 答申案【説明、質疑・回答、委員間協議】